

植草芳子 うゑくさ 歌人。明治二十一年五月四日千葉縣津田沼町久々田  
 生れ、昭和二年一月十二日歿（八五―九七）。大正八年結婚し十年に  
 離婚。その後歌作に入り、雑誌『家庭音楽』を初めとして、歌談『常  
 春』、『泰山木』、『吾妹』等を発表。十二年馬場静浪主宰『白珠』  
 創刊に参加、同人となる。翌年第一歌集『色づく蕾』刊。静浪編輯の  
 よう遺歌集『雲に入る鳥』（昭和二年一月一日白珠社「白珠叢書」）  
 は、杉浦翠子・吉植庄亮序文、杉浦非水装畫。

